

総合資源エネルギー調査会基本政策分科会（第 45 回）の資料 1 において、
電力の限界費用を「分析対象としていないため本分析では非開示」とした理由について

総合資源エネルギー調査会基本政策分科会事務局から、2021 年 7 月 13 日に開催される第 45 回会合のモデルの試算結果について情報提供の依頼がありましたが、国立環境研究所 AIM チームでは電力の限界費用については情報提供を差し控えさせて頂きました。

限界費用の値は想定の違いによって極めて大きく変化する不確実性の大きいものです。そのため、限界費用を比較指標とする際には、その定義、意味、推計方法についてモデル分析担当者も含めて十分な認識共有がなされることがより一層必要となりますが、今回の分析では十分に議論がなされてきたわけではありません。

加えて、弊所の今回の試算では限界費用を分析の対象としておらず、想定と限界費用の関係に関する分析や、限界費用の低減を目的とした対策の分析などを実施していません。

上記のことから、今回の分析において、内生的にモデルから算定される限界費用を提示することについて差し控えることが適切と判断し、今回の一覧表への結果の記載を見送ることにいたしました。

2021 年 7 月 13 日
国立環境研究所 AIM チーム